

令和2年度8月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和2年8月4日（火）午前11時00分～11時40分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ8社

会見内容

1. 話題提供（5項目）

1. 子育て世帯応援事業について

- はじめに、9月から実施する「子育て世帯応援事業」についてです。
- 本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援や地域経済の域内循環を目的とするものです。
- 釧路市に住民登録のある平成14年4月2日生まれから令和2年12月31日生まれの18歳までのお子様を対象として、お子様一人につき1万円分の商品券を9月上旬より随時、各ご家庭等へ郵送いたします。
- 令和2年9月生まれ以降のお子様については、その翌月に商品券を送付させていただくことになっております。
- 今回、配布させていただく子育て世帯への商品券は「釧路市プレミアム付商品券発行事業（釧路市エール商品券）」で登録されている飲食店・物販等の両参加店共通で使用できるものとなっており、商品券の利用期間は令和3年2月28日（日）までとなっております。
- あわせて、皆様が使いやすいように、商品券の額面が全て500円券となっております。

2. 飲食店・宿泊施設感染防止対策支援事業について

- 続いて、飲食店・宿泊施設感染防止対策支援事業についてです。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、本市においても非常に大きなダメージを各業界が受けており、とりわけ飲食店や宿泊施設においては、本当に大変な状況になっております。
- このような中で、感染防止対策として、感染経路をしっかりと防いでいくことが重要であるという観点から、アクリルパーティションやフェイスシールドといった飛沫感染防止用品に対して、購入経費の10分の9を補助することにより、飲食店や宿泊施設における感染防止対策を推進するものです。
- 申請期間は10月末までとなっておりますので、事業者の皆様には、是非ともこの制度を利用していただき、感染防止対策をしっかりと行っていただきたいと思います。

- 感染者の数が少ないから大丈夫ということではなくて、接触感染を防ぐための手洗いや消毒液の設置、そして飛沫感染を防ぐためのマスクの着用や換気等を進めていき、一つひとつの感染経路を断つことが、安全対策に繋がってまいりますので、これらをしっかりと実行するというものです。

3. 新型コロナウイルスの影響を受けている観光関連事業への様々な施策について

- 続いて、新型コロナウイルスの影響を受けている観光関連事業への国の交付金を活用した様々な施策についてです。
- 最初に、「修学旅行・合宿誘致促進事業補助金」についてです。
- 本事業は、修学旅行や釧路合宿等の誘致を図るものであり、各団体に対し、市内バス会社の貸切バス料金を補助するものです。
- 修学旅行促進については、釧路市内での宿泊1泊以上の修学旅行のうち、貸切バス1台当たり5万円を補助するものです。
- さらに、修学旅行誘致のインセンティブとして先着5,000名にノベルティを配付いたします。
- また、合宿誘致については、釧路市に宿泊する合宿団体に対して、宿泊施設から会場までの貸切バス料金の5分の4を補助するものです。
- 続いて、「GoToトラベル誘客促進事業」についてです。
- 本事業は、新型コロナウイルスの影響により大きく減少した釧路への旅行者の回復に向けて、誘客促進事業に取り組む「一般社団法人釧路観光コンベンション協会」へ市が補助するものです。
- あわせて、大幅に減少した航空機利用者の需要回復に向け、「くしろ広域観光誘致推進協議会」が航空会社とタイアップして実施する、利用促進キャンペーンを支援するものです。
- 内容といたしまして、一点目は、国の「GoToトラベル」により、釧路市を旅行先として選択していただけるよう地域の特産品等が抽選で当たる「(仮称)GoTo!ステイクシロキャンペーン」を実施いたします。
- 本キャンペーンは、飲食店や土産物店等において、一定額以上の消費をした旅行者を対象とすることで、市内における旅行者の消費拡大を図るものであり、自然景観を織り込んだ映像を制作し、YouTubeやSNS等を活用した情報発信を展開しながら行っていくものです。
- 二点目は、ANA、AIRDO、JALの3社と連携し、「GoToトラベル」として販売される釧路行きの旅行商品の販売促進を図るため、WEBやSNS等を活用した広告宣伝を実施するとともに、インバウンドの減少により旅行需要の低下が見込まれる冬季の需要喚起として、利用者へのインセンティブなど航空機の利用促進による、釧路市への誘客を図っていくものです。

- 続いて、「新規就航路線支援事業」についてです。
- 8月1日から、釧路ー成田間でピーチアビエーションの運行がいよいよスタートしたところであります。この厳しい環境の中で、スタートした路線をしっかりと定着をさせていこうというものです。
- 内容といたしましては、全国展開している飲食チェーン店において、テーブル上にPOP等を設置するとともに、WEBやアプリ等による地域PRやピーチアビエーションの釧路ー成田線の周知を実施するものです。

4. 令和2年度国立公園満喫プロジェクトインバウンド向けプロモーション実施等業務について

- 続いて、令和2年度国立公園満喫プロジェクトインバウンド向けプロモーション実施等業務についてです。
- 環境省が本年度実施しております「令和2年度国立公園満喫プロジェクトインバウンド向けプロモーション実施等業務」において、アドベンチャーツーリズムのプロモーション戦略を検討する内容が含まれており、その事例調査の対象として全国の国立公園から「阿寒摩周国立公園」と「中部山岳国立公園」が選定されました。
- 本事業は、環境省が実施主体となり、世界中で市場規模が拡大しておりますアドベンチャーツーリズムを今後の国立公園において、どのような形で展開していくかというものです。これは、そのような客層の方々にどのように情報を届けていくかということや、マーケティングデータの収集を行うものとなっております。
- 「阿寒摩周国立公園」については、国内のアドベンチャーツーリズムの先進地として位置付けられており、これまでの釧路市、そして弟子屈町などとの広域連携の取り組みが、一定の評価に繋がっているものと考えております。
- このたび、本事業の対象地域として選定されましたことは、来年9月に開催予定であります「ATWS2021北海道」の成功に向けて、大きな弾みとなると思っております。「阿寒摩周国立公園」がアドベンチャーツーリズムの日本における先進地といった位置付けというものを、国の方でもしっかり見ていただいているということでもありますので、ここもPRしながら進めてまいりたいと考えております。

5. JR花咲線「厚岸・浜中の旅」モニターツアーの実施について

- 続いて、JR花咲線「厚岸・浜中の旅」モニターツアーの実施についてです。
- 本事業は、花咲線の利用促進と長期滞在者と釧路市民との交流を目的に、9月2日（水）に実施いたします。
- 内容については、貸し切り車両にて、釧路駅から浜中町茶内駅まで、太平洋や別寒辺牛湿原の雄大な自然を車窓から楽しみながら乗車、到着後は専用バスに乗り換え、浜中町と厚岸町のお勧めスポットにご案内いたします。

- 浜中町では長期滞在者に人気の霧多布湿原へご案内し、厚岸町では有料のオプションとして、試飲付きの厚岸ウイスキー講座をご用意しております。
- 厚岸町、浜中町にも全面協力いただき、花咲線沿線の歴史や魅力的な景勝地をご紹介します。
- 8月1日（土）から募集を開始したところ、非常に反響がよく、8月3日（月）の時点で、長期滞在者枠、釧路市民枠ともに定員に達している状況であります。
- このように花咲線を利活用して、オプション等を設定しながら進める本事業に、多くの方が応募してくれている状況であります。どうしても通年の事業とはなりません、スポット的な事業として、地域の魅力を知っていただくことに繋がるものと考えられますので、次はどのように展開するのか、できるだけ早期に皆様にお示しをさせていただきたいと思っております。

2. その他（1項目）

1. 「カムイへの祈り ～カムイコオリパク～」の開催について

- 最後に、「カムイへの祈り ～カムイコオリパク～」の開催についてです。
- 8月1日（土）から11月8日（日）までの毎日、午後8時から阿寒湖温泉で、しっかりと感染防止対策を行っていきながら、事業展開していこうということで、新たなイベントとして「カムイへの祈り ～カムイコオリパク～」がNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構の主催により開催されます。
- 「カムイへの祈り ～カムイコオリパク～」は、アイヌの哲学である自然への畏敬と感謝の大切さを体感していただきながら、新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様の安全・健康を祈るイベントです。
- イベントのプログラムといたしましては、まず、参加者の皆様に遊覧船へ乗船いただいて、マリモに見立てたカプセルに、さまざまな願いを込めて湖に投げ入れてもらいます。
- 下船後は、アイヌによる火の儀式を行った後、参加者の皆様が「厄除けのタイマツ」を持って、温泉街を阿寒湖アイヌコタンまで行進していただき、アイヌコタンの広場では、阿寒湖の自然のあらゆる神々に感謝する祈りの儀式「カムイノミ」を行います。
- なお、新型コロナウイルスの感染防止対策といたしまして、参加者全員に阿寒湖オリジナルのアイヌ文様入りマスクと、アルコールジェルをお配りいたしますので、安心してご参加いただけます。
- さらに、このマスクを商店街で提示しますと、割引などのお得なサービスを受けることができます。
- 市民の皆様には、阿寒湖温泉やアイヌ文化の魅力を感じていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 飲食店・宿泊施設感染防止対策支援事業は、いつから始まるのでしょうか。

(市長)

- ・ 8月1日から始まっております。

(質問)

- ・ こちらは先着という形になるのでしょうか。予算はどのくらいでしょうか。

(産業推進室長)

- ・ 受付順に支払い等の手続きを進めており、予算は、飲食店向けで4,000万円、宿泊が3,660万円、合わせて7,660万円となっております。

(市長)

- ・ 基本的には、目安として予算をもって行っているところでありまして、10月までに出来た順番から受け付けていくものです。これは、皆さんがしっかりと進めていった場合には、予算の範囲内でいく場合もありますし、追加しなければいけないということもあります。皆さんには感染防止に努めていただくことが一番大事でありますので、まずは、皆さんに動いていただきたいと思います。

(質問)

- ・ 既にパーティションを購入されている方もいると思いますが、いつぐらいからの購入が補助の対象となるのでしょうか。また、申請の際は、購入時の領収書があればよいのでしょうか。

(産業推進室長)

- ・ 本年の4月1日に遡って対策をしている方には、支援していく形になっており、購入してお金を支払ったものがわかるものとして、領収書が必要です。

(質問)

- ・ ピーチの釧路ー成田線の就航について、市長は成田発の初便に乗られたと思いますが、利用してみた感想と、新型コロナウイルスが感染拡大している状況ではありますが、就航にかける期待について教えてください。

(市長)

- ・ 成田ということ、都内との距離があるかと思っていたのですが、都内へのアクセスが良く、利便性が高いと思っております。今回、私は成田から来ましたが、釧路から成田に行く場合は、成田に午後5時半ぐらいに到着いたします。そこから移動して午後6時半ぐらいに都内に入れるということですので、こちらの利用についても非常に便利であると思ったところです。その上で、やはりLCCでありますので価格の安さは、本当に魅力であると思っております。発着は成田空港の第3ターミナルでありましたが、若い方々の利用もありましたし、ご家族で移動をするといった今までと違う風景を見ることができました。そして、全国で展開していく中で、釧路ー成田線というものが、非常に搭乗率が高いということも、ピーチの森CEOから教えていただいたところでもありますので、魅力のある路線を獲得できたと思っております。その上で、新型コロナウイルスの新規感染者が増えている中で、様々な不安等が言われているところでもあります。そこをしっかりと対応していくためにも、感染防止対策として感染経路を防ぐ取り組みが重要であり、様々な対応を行っていくということでもあります。私どもは、感染者がいないから安全だということは、ロジック的におかしなことであると言っております。感染防止対策を行っているから安全であり、感染者がいるかないかに関わらず、ウイルスは既に蔓延しているという考えに立ちながら進めていくことが、

一番重要なことだと考えております。手洗いや消毒液の設置、あわせて飛沫感染を防ぐためのマスクの着用、そしてパーティション等の設置や換気を行い、私たちの地域における感染防止対策を示すことで、様々なお客様も安心して来訪していただくことができますので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

(質問)

- ・ 新規就航路線支援事業では、POPを全国展開の飲食店チェーンに設置するということですが、どちらの飲食店チェーンに設置するかについては決まっているのでしょうか。また、POP自体出来ているものはあるのでしょうか。

(観光開発主幹)

- ・ 今のところは、先程、市長からお伝えしたこと以上の情報は、ピーチさんから入っていない状況です。

(質問)

- ・ 飲食店の感染経路の防止について、利用者側にとっても安全対策を行っているお店は北海道や東京都等では、ステッカー等を貼り、安全であるお店として対応している目印にしており、いつでも利用してもらえよう呼び掛けていると思います。釧路市内の飲食店に対しても、市として、そのようなステッカーを設けることはあるのでしょうか。

(市長)

- ・ はい、その予定はあります。

(産業推進室長)

- ・ 実施等について、業界団体の方々とガイドラインに適合しているかどうか等も含めて、今、打ち合わせを進めているところです。

(質問)

- ・ 市独自のステッカーになるのでしょうか。

(市長)

- ・ そのように考えております。市として、接触感染・飛沫感染・空気感染という感染経路の対策を進めていくにあたって、どのようにするかということです。個人に対しては手洗い、あわせてそれぞれの店舗に対しては消毒液の設置をしっかりと行っていただき、換気をしていただく。また、飛沫感染を防ぐためにパーティションについてもお話させていただきました。それぞれが非常に多岐に渡っておりますので、まずは基本的にそのようなことをしっかりと行っているかの状況を示す目印は必要ですから、市として取り組んでいくこととなります。

(質問)

- ・ いつぐらいまでに、目印等のステッカーを実現できるのでしょうか。

(市長)

- ・ 早く進めたかったところではありますが、やはり時間が掛かっております。今は10月までの受付等を行っておりますから、早期に取り組んでいければと考えております。飛沫感染の防止等については、本事業が始まる前から、皆さんとお話をしており、既に進めていただいている場所もありますので、このようなところが早期に広まってくれたらと思っております。

(質問)

- ・ 業界団体とのお話し合いの中で、何か課題になっているものはありますか。

(産業推進室長)

- ・ 業界の業種によってガイドラインが微妙に異なるので、どのあたりを安全・安心のものと言えるかのラインが難しいところです。

(市長)

- ・ これは見ていただくとわかるのですが、一つひとつの各業界団体のガイドラインを全部見ると項目が詳細に定められており、理解するにも日数が掛かります。感染防止については、それぞれが真剣に考えながら進めていくことでありますから、我々といたしましては、一つの目安として、そのような感染経路についてしっかりと対策をとって行っていくものです。新しい生活様式にいたしましても、北海道スタイルにいたしましても、まずは基本的なこととして、手洗いやマスクの着用をしっかりとやっていきたいと思います。このことから、そのような基本的なことを徹底していきましょうといったことを、事業者の方々にも認識していただく形で進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 道路占用の緩和について、こちらも新型コロナウイルス関連の対策と思いますが、どのような効果を狙っているのか教えてください。

(市長)

- ・ 今までの色々な商店の造り等を考えると、当然それぞれにキャパシティがあり、その中でしっかりとソーシャルディスタンスをとっていきますと、定員が少なくなってしまう。例えば10人ぐらいのキャパシティの店舗で対策をとっていきますと、今までは例えば7割ぐらいの方が入って、1日3回転20人ぐらいの方に利用してもらって経営等が成り立ち、従業員もいたというビジネスの仕組みでした。そこが様々な感染防止対策を講じることで、実は3人しか入れなくなりますと、3人で今までの1日20人を確保するためには、7回転しなければいけないということになります。そのようになりますと物理的に不可能ということで、そこで3回転しても10人程度と今までの半分で成り立てていくことは、大変厳しい現実があります。そこで、換気等の対策も兼ねて、路上等のオープンスペースを活用しながら進めていくというものであります。外国を見ていけば同様のものがあります。店内よりも外を活用しながら、そのような対応を行っているところで、国においても道路占用の許可基準の緩和を行っております。前回の議会においても、このような形で市道を活用しながら賑わいを作る等の展開をしていったらどうかというお話もいただいたところでありまして、室蘭市が先行して進めております。今回、事業者からの提案をいただいたということで、これを実施していこうということです。

(質問)

- ・ 既に申請等が来て、実際に路面にお店が出ているところはあるのでしょうか。

(道路管理主幹)

- ・ まだ、申請はありませんが、実施の相談がきております。

(質問)

- ・ 市立釧路総合病院の新棟建設の計画は、9月目途にまとめるという話がありましたが、現在の進捗状況はどのような感じでしょうか。

(市長)

- ・ 市立病院の内部でも相談し、私どもも入りながら、色々な相談をさせていただいているところであります。新型コロナウイルス感染症の対応等を行っていきな

がら、先生方、院長先生を含め、一つの大きな考えた方をまとめているところでありまして、それをどのように具体化していくかというところを相談している最中でありますので、スピードを上げて取り組んでいきたいと考えております。

(質問)

- ・ 話題3について、釧路市としては、観光客あるいは修学旅行等を積極的に受け入れるということだと思いますが、現在、GoToトラベルについて批判もある中で、観光客の皆さんの受け入れに対する市長の考え方をお聞きかせください。

(市長)

- ・ 新型コロナウイルスについては、正しく恐れるということが必要であり、その上でしっかりとした対応をしていくということでした。どのような性質であるかについては、全てはわかっておりませんが、21世紀自体が感染症・ウイルスとの戦いであるということは、20世紀から言われており、無くならないものでありますので、その中でどのように進めていくのかと認識しているところであります。新型コロナウイルスは、二類感染症相当と指定されておりますので、色々な病院で隔離した形での対応を進めていこうということです。そこで、しっかりとした医療体制を維持していくために、例えば軽症者はホテルに入って経過を見ていく等、進められてきておりますので、まずは、色々な場所で陽性になり、症状が悪化しても、しっかりと治療ができる環境を整えていくことが重要であります。ここについては、道の方とも相談しながら進めているところです。どこにウイルスがいるという話ではなく、国内に蔓延している状況の中で、先程お伝えしたように感染経路をしっかりと防いでいくということです。これが、感染防止対策に繋がっていくものと考えております。このことから、何かのたびに、とにかく皆さん来てくださいという話ではなく、どこにいてもしっかりとした感染防止対策を、個人としても事業者としても行っていくということが重要であるといったお話をさせていただいております。その上で、色々なストレスや色々なところでの自粛等がある中で、豊かな自然の中で癒しを感じてみたいであるとか、それほど大人数の宴会でもないですが、個々の中で、そのような時間を有意義に過ごしたいという方々が出てくる訳ですから、このような方々に来ていただけたら、ありがたいことだと思っておりますし、色々な対策をしっかりと進めていかなければいけないと考えております。あわせて、学校や合宿等も、しっかりと対応している状況であります。やはり豊かな自然等を見ていただいて、そこでの旅行を通じたの学びがあります。また、合宿等でも期間が制限されたところでは、なかなか成果が上がってこないということがあります。どこか一つ合宿するにしても、検査をした中で取り組んでいるところでありますので、我々も来られる方も、両方が感染防止対策について考えながら進めていくことが望ましいことであると思っております。

(質問)

- ・ GoToトラベルは、東京都民は対象から外れており、全国の首長の皆さんは、はっきりと東京からは来て欲しくないとおっしゃる方もいらっしゃいますが、釧路市の場合は、区別することなく、どこからでも来てくださいというスタンスなのででしょうか。

(市長)

- ・ 感染防止をどのようにするのかという議論だと思っております。動くなという形の中で、物事を進めていくことも一つの手法です。このことから、緊急事態宣言の中で人の動きを止めるということは、医療崩壊を招かないためにも必要なこ

とであったと考えております。先程お伝えしたように、医療体制を守っていく中で軽症者の対応等を行い、現在どのような状況になっているかを踏まえながら、進めていくべきと考えております。入院患者の病床利用率も上昇している状況であることも承知しておりますが、そこを踏まえた中で、どのようにこの環境の中で、正しく賢く行動をするかということを、今一番問われていることだと思っております。このことから、皆さんが賢く行動する、あわせて私たちもそのような対策をしっかりととっていくことが重要あります。何でもかんでもどうぞ皆さん来てくださいますと、経済か命かではなく、経済は命とイコールであります。どのようにこの状況の中で、それぞれの生活や企業活動、また社会性等をしっかりと確保していくかが重要であり、私はそのような時代であると考えております。